

ひがしっ子

下野市立国分寺東小学校
令和3年度臨時号
2021. 5.21発行



子供たちに呼びかけました

「つらい気持ちに 寄り添える人になろう」

連日、新型コロナウイルス感染拡大や変異株の危険性についての報道が続いています。5月19日付け文書で、本校関係者においてもPCR検査の受検の増加や陽性反応の報告が出てきていることを踏まえ、拡大防止のため学校行事を延期する旨、お伝えしたところです。関係者の皆様には心よりお見舞い申し上げます。

こうした中で、ひがしっ子みんなが、感染予防に気を付けながら明るく元気に学校生活を送れるようにするために繰り返し伝えてきた事を、改めて各担任から児童に呼びかけました。以下に一部抜粋してご紹介します。

保護者、地域の皆様におかれましては、思いをご理解いただき、子供たちに適切なご指導、ご助言をくださいますとともに、感染予防に関わる不要不急の外出の自粛、マスクの着用、手洗い・消毒の励行に一層努めていただきますよう、お願い申し上げます。

今、やるべきこと その1

「新型コロナウイルスに、自分がうつらないように、 そして、誰かにうつさないように感染予防に努める」

学校でも家でも、これまで以上に手洗いや消毒、マスクを正しく着けることに気を付け、密にならないように、上手に距離をとりながら生活しましょう。

今、やるべきこと その2

「つらい立場にある人に寄り添う気持ちをもって行動する」

自分の身近に、新型コロナウイルスに感染した人、あるいは家族が感染した人がいても、その人の苦しみや悲しみ、不安などを思いやって、決して責めたり、差別をしたりしないで、一日も早い回復を祈りながらそっと見守りましょう。そして、戻ってきたときには、自然に迎え入れるクラスをつくりましょう。

悪いのはウイルスで、感染した人ではありません。どんなに感染予防に気を付けて生活していても、新型コロナウイルスに感染してしまうことは、誰にでも起こりうることです。

もし、あなたが感染した人を責めたとしたら、自分が感染したとき、あなたはどんな気持ちになるでしょう？。感染した人のつらい気持ちに寄り添って考え行動することは、自分のことも支えてもらえることに必ずつながります。